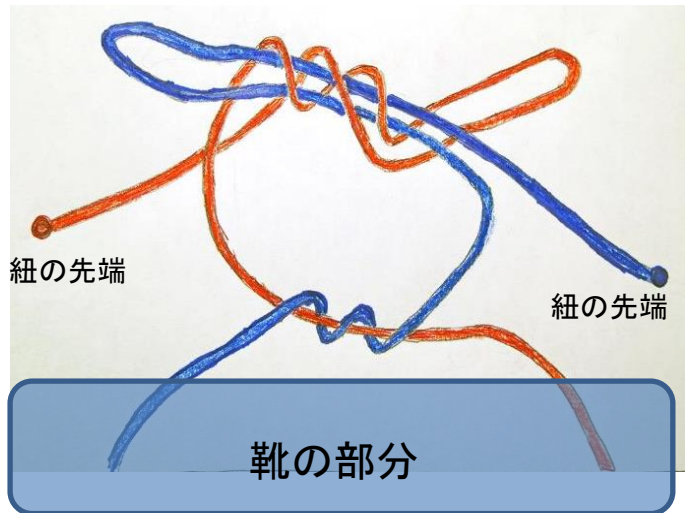


A. 靴ひもの結び方

山に登るには靴を履きます。靴ひもが緩んだ事はありませんか？ 緩まない結び方はいろいろありますが簡単に結べて、簡単に解ける方法の1つを紹介します。二重花結びとでも名付けましょうか。

以下に図解します。

- ① 右側を赤、左側を青として考える。
- ② 左側の紐を右側の紐の上から2回絡げて少し大きめの折り返しを作る。
- ③ そこに右側の紐を少し大きめに折り返し②で作った折り返しに2回からめる。
- ④ 赤、青の折り返した部分を左右に引っ張り紐を締め付ける。
- ⑤ その際、全体の形を紐の先端や折り返し部分を調整して整える。
- ⑥ 緩める時は左右の紐の先端を引っ張ると簡単に解ける。
- ◎ これで締めれば紐が緩む事はない。これを利用してその他、紐結びへの応用も可能である。



B. 雨具の手入れ

ほとんどの方の雨具は現在ゴアテックスではないかと思います。この雨具をいつまでも快適に使う為の方策の1つを紹介しましょう。

ゴアテックスの細かい特徴は既にご存知と思いますので省略します。ここではその取扱いについて解説したいと思います。一度実践してみてください。

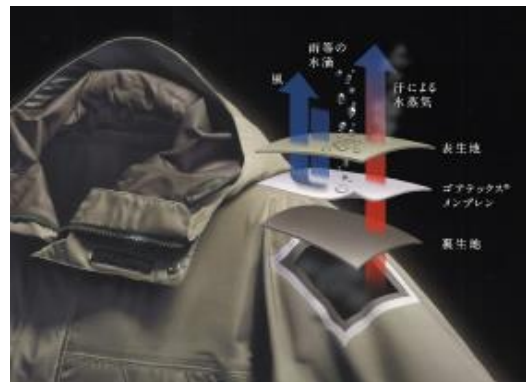
① ゴアテックスの収納の仕方

理想的にはハンガーに掛けておくのが一番です。やむなく収納袋に入れておく場合は出来るだけ緩やかに丸め、湿気の少ない場所に保管する事。又折りたたむ場合は同じ個所で折り目を付けず、ずらしてゆく。これはラミネートされたゴアフィルムにダメージを極力少なくするためです。

② ゴアテックスの劣化とは

ゴアの雨具で濡れるようになったとの話を時々聞く。

しかし、基本的にはゴアテックスのフィルムの劣化(傷によってフィルムの損傷、同じ個所の曲げ、過度な引っ張り荷重等による破断等)していなければ、ゴアテックスフィルムの性能は大丈夫。濡れる原因は内部の汗による場合が多い。使っているうちに、ゴアの小さな穴にゴミや人脂などの汚れがつまり、本来の性能が発揮できないのである。一時はゴアの洗濯はダメ、との時期もあったが、年に数回使用する人は、シーズンの初めには一度洗濯をしてみると良い。



ゴアテックスのイメージ図

③ ゴアテックスの洗濯

基本的には中性洗剤(専用の洗剤もある)でぬるま湯で手洗いする。ネットに入れて洗濯機でも可能である。これは雨具両表面の汚れや人脂を落とし、ゴアの穴掃除である。このマイクロの穴がゴアテックスの命なのである。洗濯後は脱水機にはかけてはいけない。

その後、専用の撥水剤(エバニューのTXダイレクト等)に浸し、陰干しをする。

④ 防水スプレー

雨具をハンガーに掛け、まんべんなく防水スプレーをかけて表面の撥水処理を行う。その後しっかり乾燥する。

⑤ 表面の起毛

まだ完璧な雨具(雨を通さず、汗を発散)はない。雨水を通させない条件は雨具の表面に出来る限り水滴を寄せ付けない事(これが撥水)が大事である。例えばハスの葉である。ハスの葉の表面には沢山の繊毛があり水の粒が葉の表面に達する事が出来ない。ゴアの新製品が水をはじくのはこれを応用している。しかし使い込むうちに表面の繊毛が倒れてきて水をはじかなくなる。これが雨具がべっとりと濡れた状態である。製品出荷時には恒温槽に入れ繊毛を立てている。

我々も、アイロン(低温で必ず当て布をする)をかけることにより繊毛を立てる事が出来る。